ファンドもいろいろ（その2）

前期では様々な証券ファンド（投資信託）について触れました。運用をプロに任せたいという考えの下に生まれた投資信託ですが、それでも敷居が高いと感じたり、生理的に株はダメと考える人もいることでしょう。しかしそんな人のために、株ではなく非常に身近なものに対して投資を行い、配当を得ることが出来るというちょっと変わったファンドを紹介します。

映画ファンド

映画の製作と配給の資金を投資家から集め、投資家は映画の興行収入とビデオグラムの収益の一定割合を得ることになります（資料1）。同じような仕組みで「アニメファンド」というものもあります。

音楽ファンド

アーティストに出資し、そのアーティストのCDの収益から配当を得るという仕組み。中には投資家をライブに招待してくれるファンドもあります（資料2）。

レジャーホテルファンド

いわゆるラブホテルに投資するファンド。ホテルの収益から配当を得る形ですが、ラブホテルはシティホテルやビジネスホテルと違い高収益が期待できる（普通のホテルが1日1組しか泊めることが出来ないのに対して、レジャーホテルは1日に何組でも部屋に通すことが出来る）ため、利回りは相当良いです。

アイドルファンド

自分のお気に入り（？）のアイドルに投資することで、写真集・DVD・CDなどの収益から配当を得ることが出来ます（資料3）。

その他にもワインファンド、風力発電ファンド、通信設備ファンドなど多種多様のファンドがあります。

またこの種類のファンドは投資信託ではなく匿名組合による出資という形態をとっています。つまり映画やイベントなどの「事業」を対象に有限責任の範囲で出資することになります。さらに株とは違って、流動性に欠けていたり、事業に口出しすることも出来ません。

ですが、「自分の応援したい事業に出資する」という投資の基本概念に沿っているのは事実です。またそれこそ自分の得意分野が生かせるという利点もあり、考えるのに十分値するのではないのでしょうか。

参考：金融サービスを考える <http://tokyolife.cocolog-nifty.com/money/2005/04/index.html>

Music Securities <http://www.musicsecurities.com/>

レジャーホテル(ラブホテル)投資ファンドの研究

<http://nsk-network.co.jp/n-050821.htm>

アイドルファンド

<http://www.fundol.net/outline/>